

12月の安心かわら版

12月の主な行事

3日 : 秩父夜祭り
7日 : 大雪
22日 : 冬至
24日 : クリスマスイブ
25日 : クリスマス
31日 : 大晦日



令和5年度 今シーズンのインフルエンザ総合対策について

厚生労働省から発表されたインフルエンザについての情報をまとめてみました。

1. はじめに

季節性インフルエンザのウイルスにはA(H1N1)亜型、A(H3N2)亜型、2系統のB型の4つの種類があります。流行しやすい年齢層は、ウイルスの型によって多少異なりますが、今年も、全ての年齢の方がインフルエンザに注意する必要があります。また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響でインフルエンザの流行が低調であったこと等の影響でA(H1N1)亜型やA(H3N2)亜型の抗体の保有割合が全年齢で低下傾向にあること等から、インフルエンザの流行が起こりやすい状況にあると考えられます。実際に、例年より早く本格的な流行が生じる可能性があることに注意が必要です。

2. 感染防止について

(1) 「基本的な感染対策」について

COVID-19に対する基本的な感染対策（飛沫感染対策、エアロゾル感染対策、接触感染対策）は、インフルエンザ対策（飛沫感染対策、接触感染対策）としても有効です。

基本的感染対策	考え方
マスクの着用	一定の場合にはマスク着用を推奨（下記参照）
手洗い等の手指衛生換気	新型コロナの特徴を踏まえた基本的感染対策として有効
「人と人との距離の確保」等	流行期において、高齢者等重症化リスクの高い方は、換気の悪い場所や不特定多数の人がいるような混雑した場所、近接した会話を避けることが感染防止対策として有効（避けられない場合はマスク着用が有効）

〈マスクの着用が効果的な場面〉

○高齢者など重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、医療機関を受診する時や、高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などへ訪問する時等は、マスクの着用を推奨します。

○そのほか、COVID-19やインフルエンザの流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時については、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的です。

〈症状がある場合は〉

咳や痰などの症状がある場合は、他の人への感染を防ぐため、「咳エチケット」を心がけることが重要です。

○咳・くしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを持ってない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。

(2) 予防接種について

インフルエンザワクチンの予防接種には、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があり、特に高齢者や基礎疾患のある方など、罹患すると重症化する可能性が高い方には効果が高いと考えられます。

予防接種の接種回数については、13歳以上の方は、1回接種を原則としています。ワクチンの添付文書には「13歳以上のものは1回または2回注射」と記載されていますが、健康な成人の方や基礎疾患（慢性疾患）のある方を対象に行われた研究から、インフルエンザワクチン0.5mLの1回接種で、2回接種と同等の抗体価の上昇が得られるとの報告があります。ただし、医学的な理由により、医師が2回接種を必要と判断した場合は、その限りではありません。なお、定期の予防接種は1回接種とします。

秩父支店スタッフ ~よろしくお願ひします~



レジアスインパクト(株)秩父支店

chichibu@rezeous.co.jp

〒368-0024 埼玉県秩父市上宮地町26-21

TEL 0494-27-3210 FAX 0494-26-6555

事務所の電話番号も登録お願ひします！